

第2回税制委員会

日時: 8月21日(水)

場所: 名古屋栄ビル 参加者: 19名

今回は、提言書「2020年度税制改正に対する意見」案について審議を行った。

はじめに、第1回委員会での重要論点や、会員企業へのアンケート調査およびヒアリング調査における意見をもとに、今年度の提言書案を作成したことを報告した。続いて、事務局から提言書案の説明を行い審議に移った。

審議では、「税制の抜本的改革の必要性」「地域創生に資する税制整備の必要性」「国土強靱化に資する税制」「税制の合理性や受容性の向上、



小島プレス工業 小島相談役

新陳代謝」「税務負担の軽減」などを中心に、幅広く意見が交わされた。特に、租税体系について、時代や産業構造の変化にあわせて体系的に整備する必要があるとの意見が多く寄せられた。

また、「提言書案には日本社会の重要課題に対する意見や会員企業の声が十分に反映されているため非常に良い」との発言もあった。

最後に、本委員会での審議を踏まえて取りまとめた最終案を、9月度の正・副会長会および総合政策会議へ上程することとした。

(調査部 柳田 智之)

中経連事務局員対象の家具固定教育を実施



家具固定教育とは、愛知県が窓口となり、県内の市町村や学校、企業などが主催する講習会やイベントへ家具固定推進員(家具等転倒防止対策を推進するボランティア)を無料で派遣し、教育・啓発を行う取り組みです。7月31日(水)および8月1日(木)、中経連では事務局員を対象に家具固定教育を実施し、35名が参加しました。

1 座学

座学では、犠牲者の多くが圧死であった阪神・淡路大震災の映像などから家具固定の必要性を改めて認識するとともに、固定のポイントや費用をかけず実践しやすい対策方法について学びました。

2 実習

実習では、金具を壁に固定する際の下地探しや電動工具を用いた金具の取付、ガラス飛散防止フィルムの貼付を推進員の指導のもと行いました。慣れない作業に悪戦苦闘し、体験することの重要性を実感しました。

中経連はこれまで、南海トラフ地震に代表される大規模災害に対し、事前の備えを促進するため、BCPの普及・実効性向上や耐震化に係る設備投資を後押しする税制の整備などを柱に活動してきました。また、従業員一人ひとりが家庭の備えを確実にし、自分と家族の命を守ることが、企業の事業継続・早期復旧の根幹となることを忘れずに活動してまいります。

愛知県 家具固定推進員派遣先募集サイト

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/bosai/h31kagukoteisuishininhaken.html>